

地域の声

②令和3年度ソーシャルクリニック巡回型サテライト・オフィス事業を終えて

奥尻町地域政策課政策推進係
主幹 武安 郁男

去る令和3年12月3日（金）に奥尻町海洋研修センターにおいて、北海道教育大学函館校地域協働推進センターが主催する巡回型サテライト・オフィス事業を開催していただきました。

昨年度も奥尻町を対象として開催されましたが、コロナ禍であったため、残念ながらオンライン開催となりましたが、奥尻町の意向を汲んでいただき、今回改めて開催していただきました。



また、同大地域協働専攻・国際協働グループ3年の秋山ひかるさんからは、自らが体験した「観光コンシェルジュ実習」について発表していただきました。特に秋山さんのご両親が奥尻島で開催された「ムーンライトマラソン」に出場された時のお話など、興味深い話を交えて発表いただけただことで、奥尻町の参加者も親近感を持てたと思います。



まず地域協働推進センターにおけるこれまでの様々な取組や、附属函館中学校でのGIGAスクール事業を活用した複数の中学校相互の連携による多角的な実践授業への取組、さらには教員研修のお手伝いなどの取組事例を多数ご紹介いただきました。



その後、奥尻町立奥尻高等学校の生徒2人（2年生の佐々木さん、1年生の小林さん）から、この島ならではの特色ある授業（パブリシティ本部、スクーバダイビングなど）の取組を紹介していただき、2人の堂々とした発表の様子に私達大人が驚かせられた状況でした。

後半は、フリーディスカッションとなりましたが、私ども奥尻地域と他地域との繋がりや連携を促進させたいと考えており、参加者から複数の相談をさせていただいたところ、大学や附属函館中学校からも課題解決に向けた多くの提案やアドバイスをいただきました。

その中でも、教育関係で奥尻高校の島留学生募集チラシの効果的な配付方法の提案をはじめ、大学生と奥尻高校の生徒がネットでつながり勉強を教えてもらう「Wi-Fiニーネー」の取組に、函館校の学生が協力してもらえるよう呼び掛けを行うこと、奥尻中学校と附属函館中学校との連携や宿泊研修時の函館市内の見学先企業とのマッチングへの協力、さらには、奥尻島での「観光コンシェルジュ実習」の検討など、離島地域の奥尻町にとって新たな取組への道筋を見出せたことについて、大いに感謝申し上げる次第です。



これからも、北海道教育大学函館校及び附属函館中学校との連携を深めさせていただきようお願いいたします。